



青葉匂う

四日市市立港中学校通信

平成30年度 第12号

10月1日(月)発行

創立70周年記念植樹式を行いました

9月27日、同窓会のお力添えをいただき、創立70周年記念植樹式を行いました。植樹式には、同窓会会長様、コミュニティスクール運営協議会委員、PTA本部役員その他、生徒会役員、希望生徒、教師など総勢80名以上の参加がありました。また、十七軒町自治会長田中様にもご列席いただき盛大な式となりました。参加いただきました皆様には、心から感謝いたします。

右の写真にありますように、旧校舎の正面玄関横にハナミズキがあり、毎年ピンクの花を咲かせ、本校のシンボルとなっていました。そのハナミズキは新校舎建設の際に移植されましたが、残念ながら枯れてしまったようです。そこで、70周年記念としてかつてのシンボルであったピンクの花を咲かせるハナミズキを選定しました。また、ハナミズキの花言葉は、「永続性」「私の想いを受け取ってください」ですから、記念植樹としてぴったりだと思います。これから100周年、それ以上の期間、見事に花を咲かせてくれることを願っています。

植樹式では、同窓会会長様と校長の挨拶の後、運営協議会委員長の木村様、生徒会副会長小川深裕さん、生徒有志2名による土入れを行いました。その後、生徒会長宮原彩花さんからのお礼の挨拶は、「70年の長きに渡り歴史と伝統を守り、発展を続けている本校および同窓生に対する畏敬の念」を表現したもので、式を締めくくるに相応しいものでした。



(旧校舎正面玄関とハナミズキ)

中体連三酒地区駅伝競走大会に向けて始動！！

11月6日(火)に伊坂ダム周回コースで開催される三酒地区駅伝大会に向けて、本校駅伝部が始動します。本校では、9月18日(火)放課後に選考会を開催し、その結果を基にして、10月1日(本日)放課後に、駅伝部代表監督から選手が発表されます。それから、約1か月間の早朝練習や放課後の練習が始まります。駅伝部の皆さんはこれから厳しい練習に耐えなければなりません。しかし、厳しさを乗り越えることで、精神力が磨かれるとともに体力が向上します。さらに1分1秒という時間の大切を学ぶことができます。

本校の男子は、平成21年度に県大会出場を果たしています。今年度は、男女アベック県大会出場を目指して、頑張ってください！！応援しています。

全国学力・学習状況調査(3年生)の結果からみられる特徴

【国語】

○ A問題(主として知識)について

- ① 領域別では、「話すこと・聞くこと」が全国の正答率と比べてとても高く、「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質」もかなり高い結果でした。
- ② 特に高かった問題は、「文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える」「話し合いの話題や方向を捉えて的確に話す」「文脈に即して漢字を正しく書く」「行書の基礎的な書き方を理解して書く」でした。

- ③ 全国の正答率より低かった問題は、「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う」「目的に応じて文の成分や照応、構成を考えて適切な文章を書く」ものでした。
- ④ 課題としては、32問中5問において、無回答率が全国よりも高くなったことです。すべて選択式の問題であり、わからない問題は選択式であっても答えない傾向があることがわかりました。

○ B問題（主として活用）について

- ① 領域別では、「話すこと・聞くこと」が全国の正答率より高く、「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質」はかなり高い結果でした。
- ② 特に高かった問題は、「文章とグラフの関係を考えながら内容を捉える」「文章の構成や展開について自分の考えをもつ」「目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く」「話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問する」でした。
- ③ 全国の正答率より低かった問題は、「質問の意図を捉える」のみでした。

【数学】

○ A問題（主として知識）について

- ① すべての領域において、全国の正答率と比べてとても高い結果でした。
- ② 特に「空間図形」と「1 次方程式」は、各設問平均してかなり高くなりました。この2つの領域は、昨年度の結果を受けて、本校の課題としていたこともあり、改善できたと判断しています。
- ③ 資料の活用において、「ヒストグラム」と「最頻値」の問題も課題としていましたが、「最頻値」の問題においてもかなり高い結果となり、改善されたと判断しています。
- ④ 「指数をふくむ計算処理」については、上回ってはいるものの、指数計算の確認をしっかりとするように指導することにより、一層伸ばせることができると考えます。
- ⑤ 課題としては、習熟度の二極化がみられ、習熟度の低い生徒への指導に工夫が必要であることがわかりました。

○ B問題（主として活用）について

- ① すべての領域において、全国の正答率と比べてとても高い結果でした。
- ② 全国の正答率をわずかですが下回った設問は、与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理する設問と、数式処理の過程から何を計算しているかを解釈する設問だけでした。
- ③ 課題としては、A問題と同様に習熟度の二極化がみられることです。

【理科】

- ① 全体の正答率は、全国の正答率に比べ高い結果でした。「知識」に関する問題は、少し高くなり、「活用」に関する問題はかなり高くなりました。
- ② 分野別では、「物理的領域」「化学的領域」「地学的領域」でかなり高くなり、「生物的領域」でも少し高い結果でした。
- ③ 観点別では、すべての観点において高くなりました。特に、「自然事象への関心・意欲・態度」「科学的な思考・表現」はとても高く、「観察・実験の技能」「自然事象についての知識・理解」が高くなりました。
- ④ 問題別では、ほとんどの問題において高くなりました。特に「ガスバーナーの空気の量を調節する場所を指摘できる」問題、「化学変化を表したモデルを検討して改善し、原子や分子のモデルで説明できる」問題、「探究過程を振り返り、新たな疑問をもち問題を見出し探究を深めようとする」問題ではとても高くなりました。
- ⑤ 記述式の問題は、すべて高くなりました。
- ⑥ 課題としては、問題の形式が「選択式」または「短答式」の問題において6問下回りました。特に、「太平洋高気圧（小笠原気団）の特徴についての知識を身につけているか」を問う問題、「神経系の動きについての知識を身につけているか」を問う問題、「熱パックに入っているアルミニウムが水の温度変化に関係していることを指摘できるか」を問う問題に弱さがありました。

次回の学校通信では、本市が独自に全中学校で実施している1、2年生対象のNRT調査結果を報告します。